

1. はじめに

学園は今後も建学の精神と伝統を継承して「十年先、二十年先に役立つ人造り」のため、常に将来を見据え時代を先取りした教育体制の構築に尽力しつつ、着実な発展を続けていくための教育研究環境の整備充実に一層の力を注いだ。

2. 大学について

基本方針

大学創立20周年(平成7年)にあたり、学園創立以来の建学の精神と伝統を受け継ぎながら、男女共同参画、生涯学習、国際化社会、障がい者や環境にやさしい社会といった時代と社会の要請に応え、大学の理念を「違いを共に生きる」と定め、この理念を具体的に実現するため「地域に根ざし、世界に開く」「役立つものと変わらないもの」と「たくましさやさしさを」の三つのテーマを掲げ、男女共学体制に移行した。

その後、この理念にそって、学部、研究科の設置、改組を進めるとともに、学生の学びの質を充実するために、常にカリキュラムを検討し、教育研究体制の改善充実に努めてきた。

また、地域社会に貢献し連携をさらに図るため諸機関の附設を行ってきたところである。

平成29年度においても、この基本方針の下に、次のような事業に取り組みを行った。

(1) 総合英語学科の届出申請

国際化が急速に進む現代社会で、これまでの「総合的に英語を教育する学科」のポリシーを引き継ぐ一方、社会のニーズに応え、高度で実践的な英語運用能力と鋭い国際感覚を備え、多様な国際社会に通用する職業人を育成することをめざし、総合英語学科の届出申請を行い、平成29年9月25日に届出受理された。これに伴い、文学部英文学科(入学定員100名)は平成30年4月に学生募集を停止する。

1	設置する学科	文学部	総合英語学科
2	設置時期	平成30年4月1日	
3	定員	入学定員 100名	収容定員 400名

(2) ビジネス学部の再編

ビジネス学部ビジネス学科のもとに、現代ビジネス専攻とグローバルビジネス専攻を置く。現在のビジネスイノベーション専攻とビジネスアカウンティング専攻が合併して、現代ビジネス専攻となる。グローバルビジネス専攻は現状のまま移行する。

1	入学定員	学科全体230人(現行通り)	
	現代ビジネス専攻	170人	
	グローバルビジネス専攻	60人	